

死刑制度に関する世論調査について

第1 結論

別添の調査票案により世論調査を実施することが相当である。

第2 検討結果

1 死刑制度の存廃に関する質問及び選択肢（Q2）について

この世論調査において調査すべき事項が、「制度としての死刑を全面的に廃止すべきであるか否かについての国民意識の動向を把握する」というものであることを前提とするならば、従前の選択肢を変更し、「死刑は廃止すべき」、「死刑もやむを得ない」とすることが相当である。

〔理由〕

- ・ 従前の選択肢について、論理的におかしいものであったというわけではないが、従前の選択肢について「どんな場合でも」、「場合によっては」という表現について回答者にとって明瞭ではない、回答において躊躇^{ちゅうちょ}するなどの指摘があり、「どんな場合でも」、「場合によっては」を削っても、従前の世論調査との継続性を維持しつつ、「制度としての死刑を全面的に廃止すべきであるか否かについての国民意識の動向を把握する」という本世論調査の趣旨を害さないのかをプリテストを実施して確認することとなった。
- ・ そこで、従前の選択肢によるものと「どんな場合でも」、「場合によっては」を削除した選択肢によるものとの2通りの質問等でプリテストを実施したところ、「どんな場合でも」、「場合によっては」を削除する方が回答者にとってより明瞭であり、SQでもより積極的に理由を回答者が挙げていることが判明した。
- ・ 選択肢を変更した場合、大まかな傾向を把握することはできるものの、厳密な意味で従前の世論調査結果との比較はできなくなるが、上記のようなプリテストの結果を考慮すれば、大まかな継続性は確保できるものと思われ、より明瞭な回答を得ることが可能であること等に鑑みれば、選択肢を変更することが相当である。

2 SQ a 1, SQ b 1の選択肢について

別添調査票案のとおり、双方に回答票上の選択肢として「その他」を明示することが相当である。

3 終身刑と死刑制度に関する質問等について

当該質問等については、この世論調査で把握したい事項が「仮に終身刑が導入された場合における死刑制度の存廃」である以上、死刑制度の存廃とは無関係に終身刑の導入そのものについての意見を問うものとする必要はないが、調査についてはより多くの方を対象とすることが相当であるので、添付の調査票で世論調査を実施することが相当である。

4 フェース・シートについて

現在の高齢化社会を考慮すれば、年齢に関する選択肢について、従前「70歳以上」と一括りにされていたものを「70～74歳」、「75歳～79歳」、「80歳以上」に細分化すべきである。

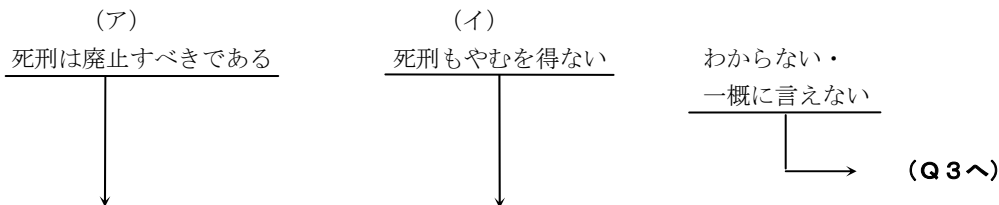
基本的法制度に関する世論調査（案）

Q 1 あなたは、今までに、裁判所を見学したり、裁判を傍聴ぼうちょうしたりしたことがありますか。

ある

ない

Q 2〔回答票 1〕 死刑制度に関して、このような意見がありますが、あなたはどちらの意見に賛成ですか。



S Q a 1〔回答票 2〕 「死刑は廃止すべきである」という意見に賛成の理由はどのようなことですか。この中から、あなたの考えに近いものを**いくつでも**あげてください。

- (ア) 人を殺すことは刑罰けいばつであっても人道に反し、野蛮やばんである
- (イ) 国家であっても人を殺すことは許されない
- (ウ) 裁判に誤りがあったとき、死刑にしてしまうと取り返しがつかない
- (エ) 凶悪な犯罪を犯した者でも、更生こうせいの可能性はある
- (オ) 死刑を廃止しても、そのために凶悪な犯罪が増加するとは思わない
- (カ) 生かしておいて罪の償つぐないをさせた方がよい
- (キ) その他 ()
わからない

S Q b 1〔回答票 4〕 「死刑もやむを得ない」という意見に賛成の理由はどのようなことですか。この中から、あなたの考えに近いものを**いくつでも**あげてください。

- (ア) 凶悪な犯罪は命をもって償つぐなうべきだ
- (イ) 死刑を廃止すれば、被害を受けた人やその家族の気持ちがおさまらない
- (ウ) 死刑を廃止すれば、凶悪な犯罪が増える
- (エ) 凶悪な犯罪を犯す人は生かしておく、また同じような犯罪を犯す危険がある
- (オ) その他 ()
わからない

S Q a 2〔回答票 3〕 死刑を廃止する場合には、すぐに全面的に廃止するのがよいと思いますか、それともだんだんに死刑を減らしていき、いずれ全面的に廃止する方がよいと思いますか。

- (ア) すぐに、全面的に廃止する
- (イ) だんだん死刑を減らしていき、いずれ全面的に廃止する
わからない

S Q b 2〔回答票 5〕 将来も死刑を廃止しない方がよいと思いますか、それとも、状況が変われば、将来的には、死刑を廃止してもよいと思いますか。

- (ア) 将来も死刑を廃止しない
- (イ) 状況が変われば、将来的には、死刑を廃止してもよい
わからない

(全員に)

Q 3 死刑がなくなった場合、凶悪な犯罪が増えるという意見と増えないという意見がありますが、あなたはどのようにお考えになりますか。

増える

増えない

わからない・一概には言えない

(資料を提示して、対象者によく読んでもらってから質問する。)

【資料】

現在、死刑の次に重い刑は、一生刑務所に入らなければならない「無期懲役」ですが、仮釈放される場合があります。これに対して、仮釈放されない、いわゆる「終身刑」は、現在の日本にはありません。

Q 4 [回答票 6] もし、仮釈放のない「終身刑」が新たに導入されるならば、死刑を廃止する方がよいと思いますか、それとも、終身刑が導入されても、死刑を廃止しない方がよいと思いますか。

(ア) 死刑を廃止する方がよい

(イ) 死刑を廃止しない方がよい

わからない・一概には言えない

《フェース・シート》

F 1 【 性 】

男 性

女 性

F 2 【年 齢】あなたのお年は満でいくつですか。

20 歳～24 歳

50 歳～54 歳

80 歳以上

25 歳～29 歳

55 歳～59 歳

30 歳～34 歳

60 歳～64 歳

35 歳～39 歳

65 歳～69 歳

40 歳～44 歳

70 歳～74 歳

45 歳～49 歳

75 歳～79 歳

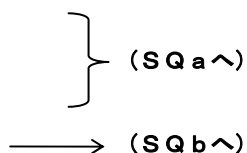
F 3 【従業上の地位】あなたのお仕事についてお伺いします。あなたは、この中のどれにあたりますか。

(ア) 雇用者（役員を含む）

(イ) 自営業主（家庭内職者を含む）

(ウ) 家族従業者

(エ) 無職（主婦、学生を含む）



S Q a 【職業】あなたのお仕事の内容は何ですか。

(具体的に記入して、下の該当する項目に○をする)

[]

管 理 職

販 売 ・ サ ー ビ ス ・ 保 安 職

専 門 ・ 技 術 職

農 林 漁 業 職

事 務 職

生 産 ・ 輸 送 ・ 建 設 ・ 労 務 職

S Q b 【主婦、その他の無職】あなたは主婦ですか。

主 婦

そ の 他 の 無 職